

鳥取県地域医療介護総合確保基金

鳥取大学医学部附属病院

在宅医療推進のための看護師育成プログラム

# I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

【基礎2年次】

## 令和6年度 I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

### 「基礎2年次」

- 【目的】 病院看護師が在宅生活志向に基づいた入退院支援を実践できる。
- 【目標】
1. 患者の入院前・退院後の生活について必要な情報を得てアセスメントし、その人にあった入退院支援を実践できる。
  2. 適切な入退院支援をするために多職種と連携できる。

## 令和6年度 I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

「基礎2年次」 集合研修とHOCノートによる個人課題で行います。

|                 |                           |  |
|-----------------|---------------------------|--|
| 第4回<br>集合<br>研修 | 日 時                       | ● <b>A</b> : 令和6年6月20日 (木) / <b>B</b> : 令和6年6月27日 (木)<br>・当日オンデマンド視聴 : 13時00分 ~ 14時00分<br>・グループ討議 (対面60分) : 14時00分 ~ 15時00分                        |
|                 | 会 場                       | 鳥取大学医学部記念講堂  |
|                 | ね ら い                     | 在宅生活志向に必要な知識の確認ができる。   |
|                 | 研修内容                      | ○講 義 (オンデマンド視聴 (45分~60分) 各施設で事前視聴、又は当日会場にて視聴)<br>「退院後の生活を見据えた看護活動と在宅療養に必要な資源<br>~介護保険・医療保険の仕組み~」<br><br>○グループ討議 (対面60分) 「事例を基にどのようなサービス・指導が必要か考える」 |
|                 | 講 師                       | <small>こやま まさみ</small><br>◇ <b>小山 雅美</b> : 真誠会医療福祉連携センター センター長   |
| 課 題             | HOCノート <b>P.18~19</b> を記入 |  |

### ＊個人課題⑥ : 受け持ち患者への退院支援インタビュー (1事例目)

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| 個人<br>課題<br>⑥ | <p>あなたが受け持って退院支援を行った患者 (チームで関わった患者) が退院後に、①外来に来られた際、②退院支援カンファレンス参加、③退院前家庭訪問のいずれかで退院後の生活を聞いて、自分の行った退院支援について振り返りを行ってください。</p> <p>この課題は入院時からの関わりが必要ですので、所属部署の管理者 (看護師長など) に課題の目的を説明し、協力を得るようにしてください。</p> <p>インタビューは2事例行いますが、HOCノートの提出は1事例ずつ提出です。</p> |   |
|               | ね ら い   | 退院支援を行った受け持ち患者より、実際に退院してからの生活・受講生の退院支援の内容を再確認することができる |
|               | 1事例目  | HOCノート <b>P.20~21</b> を記入                             |

|                 |                    |   |
|-----------------|--------------------|---|
| 第5回<br>集合<br>研修 | 日 時                | A : 令和6年9月19日 (木) / B : 令和6年9月20日 (金)<br>・当日オンデマンド視聴 : 13時00分 ~ 14時00分<br>・グループ討議 (対面60分) : 14時00分 ~ 15時00分                                     |
|                 | 会 場                | 鳥取大学医学部附属病院 会議室3, 4 (第二中央診療棟2階)   |
|                 | ね ら い              | 入院中より担当看護師、新生児集中ケア認定看護師、退院支援専任看護師らが訪問看護師、保健師、地域の行政機関等と連携した退院支援に取り組み、母親と顔の見える関係を築き安心した退院へと繋げている。その実践を紹介し退院支援の具体的方法、担当看護師役割を明確にする。                |
|                 | 研修内容               | ○講 義 (オンデマンド視聴 (45分~60分) 各施設で事前視聴、又は当日会場にて視聴)<br>「退院後の生活を見据えた病院看護師と訪問看護師の連携」~新生児・小児編~<br>○グループ討議 (対面60分)<br>「在宅療養を支援する担当看護師としての役割~多職種との連携を図って~」 |
|                 | 講 師                | ◇安達 香奈 : 鳥取大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師<br>◇服部 由香 : 鳥取大学医学部附属病院 医療福祉支援センター  |
| 課 題             | HOCノート P.22~23 を記入 |   |

|                             |       |   |
|-----------------------------|-------|---|
| 第14回<br>T-HOC<br>特別<br>セミナー | 日 時   | 令和6年9月28日 (土) 10時00分 ~ 15時00分   |
|                             | 会 場   | 伯耆しあわせの郷 (倉吉市小田458)   |
|                             | ね ら い | T-HOC 受講生と総合診療医、医学生および看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。  |
|                             | 研修内容  | パネルディスカッション、ワークショップ   |
|                             | 講 師   | パネリスト 門脇 智尋 : 訪問看護ステーション博愛<br>作笠 吉美 : 訪問看護ステーションほんわか<br>中原 裕子 : 訪問看護ステーションせいわ<br>報告 安住 朋代 : 鳥取県ナースセンター コーディネータ<br>提言 井上 和興 : 大山診療所/鳥取大学医学部地域医療学講座 |

### ※中間評価

|          |       |                     |
|----------|-------|---------------------|
| 自己<br>評価 | ね ら い | 受講生が自己評価をする (10点評価) |
|          | 評 価   | HOCノート P.31 を記入     |

**\*個人課題⑦：受け持ち患者への退院支援インタビュー（2事例目）**

|       |      |   |
|-------|------|---|
| 個人課題⑦ | ねらい  | 退院支援を行った受け持ち患者より、実際に退院してからの生活・受講生の退院支援の内容を再確認することができる |
|       | 2事例目 | HOCノート <b>P.24~25</b> を記入                             |

|                           |                           |  |
|---------------------------|---------------------------|--|
| 受け持ち患者への退院支援インタビュー後の意見交換会 | 日時                        | <b>A</b> ：令和6年11月 日（ ） 13時30分～15時<br><b>B</b> ：令和6年11月 日（ ） 13時30分～15時   |
|                           | 会場                        | 鳥取大学医学部附属病院 会議室3, 4 （第二中央診療棟2階）  |
|                           | ねらい                       | 受け持ち患者への退院支援インタビューを実施後、他の受講生と情報交換し、実施できている点と課題となることを明確にすることができる。   |
|                           | 研修内容                      | ○グループ意見交換<br>退院支援をした患者から「外来受診時の対応」「退院支援のカルパス参加」「退院前・退院後家庭訪問」等で聞き取った内容より自分の行った退院支援を振り返る<br>今後退院支援を行う上での自分自身の課題を見つける   |
|                           | 参加者                       | 受講生所属先の地域連携担当者<br>◇鳥取県立中央病院                      ◇博愛病院<br>◇尾崎病院                                  ◇日野病院<br>◇鳥取県立厚生病院                      ◇日南病院<br>◇米子医療センター                      ◇岩美病院<br>◇鳥取大学医学部附属病院 |
| 課題                        | HOCノート <b>P.26~27</b> を記入 |  |

**\*まとめ ～このコースを通して～**

|       |     |                           |
|-------|-----|---------------------------|
| 個人課題⑧ | ねらい | 2年間の学びと今後の課題を明確にする        |
|       | 課題  | HOCノート <b>P.28~29</b> を記入 |

※2年間を通しての評価

|      |      |                        |
|------|------|------------------------|
| 自己評価 | ねらい  | 受講生が自己評価をする（10点評価）     |
|      | 評価内容 | HOCノート <b>P.31</b> を記入 |

|                 |    |                           |
|-----------------|----|---------------------------|
| 第15回T-HOC特別セミナー | 日時 | 令和7年3月 日（ ） 10時30分～12時50分 |
|                 | 会場 | 鳥取大学医学部 記念講堂              |
|                 | 内容 | テーマ（未定）<br>講師（未定）         |

Iコース（2年次）に関するページは下記のQRコードから確認してください。➡

